



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス
コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 垣内 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 堀田 欣弘

TEL 03-3254-2501

四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	3,976	9.5	766	5.0	766	5.3	625	0.9
27年2月期第3四半期	3,630	10.2	730	△5.6	727	△5.8	619	△10.6

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 621百万円 (0.9%) 27年2月期第3四半期 616百万円 (△11.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	22.33	—
27年2月期第3四半期	21.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	5,219	4,626	88.6	166.34
27年2月期	5,159	4,465	86.6	156.71

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 4,623百万円 27年2月期 4,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,417	11.9	1,000	4.8	997	4.2	804	△6.1	28.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	33,637,249 株	27年2月期	33,637,249 株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	5,844,056 株	27年2月期	5,144,056 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	27,995,375 株	27年2月期3Q	28,672,974 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策の継続による円安・株高傾向を背景に、企業収益の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国をはじめとする新興国の景気減速の懸念や実質賃金の伸び悩みによる個人消費の伸び率の鈍化等、先行き不透明な状況が続いております。

雇用情勢については企業収益の改善が続く中で採用意欲の回復傾向は継続しており、当社の戦略地域である静岡県においては平成27年11月度の有効求人倍率は1.25倍となっており、緩やかながらも上昇が継続しております。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力いたしました。

当社の主力事業である求人情報事業では、人員等の増員により営業力の強化を図り、地域競争力の強化に努めました。また、紙媒体(『DOMO(ドモ)』・『求人あどむ』)、ネットサービス(『DOMO NET(ドモネット)』・『JOB(ジョブ)』・『TSUNORU(ツノル)』)、リアルイベント(『シゴトフェア』)、人材紹介等多様な商品ラインナップを揃え、お客様の様々な求人ニーズに応えるべく人材サービスの拡大・拡充に努めました。

ペット関連事業では、ペット関連情報誌『WONDERFUL STYLE(ワンダフルスタイル)』において、ユーザー満足度の向上を図るため平成27年6月にリニューアルをいたしました。また、関連イベントである『DOG!(ドッグ)フェスタ』は平成23年に初開催してから継続5年目に入り、地域に根差したペット関連イベントとしての認知が定着してまいりました。

当連結会計年度より開始しました外国人採用支援事業では、日本国内のミャンマー人を対象にした人材マッチングイベント『ミャンマーJobFair(ジョブフェア)』を平成27年5月に開催しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は3,976百万円(前年同四半期比9.5%増)となりました。売上原価は、1,183百万円(前年同四半期比15.0%増)、販売費及び一般管理費は、2,026百万円(前年同四半期比8.3%増)となりました。前連結会計年度に取得した子会社に係る費用や営業力強化のための人件費等が増加したものの、当該子会社や販促支援事業、求人サイトの増収等により営業利益は766百万円(前年同四半期比5.0%増)、経常利益は766百万円(前年同四半期比5.3%増)、四半期純利益は625百万円(前年同四半期比0.9%増)となりました。

セグメント別の業績(セグメント間の内部取引消去前)を示すと、次のとおりであります。

(情報提供事業)

情報提供事業では、既存商品である『DOMO』の販売は横ばいに推移したものの、『DOMO NET』及び『JOB』等の求人サイトや前連結会計年度に取得した子会社が発行する合同求人チラシ『求人あどむ』の販売が寄与し、売上高は3,239百万円(前年同四半期比7.8%増)、セグメント利益は1,122百万円(前年同四半期比1.7%減)となりました。

(販促支援事業)

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において既存顧客における掲出量の増加傾向は継続しており、販売は好調に推移いたしました。また、関西以西への販路拡大による販売増加、ダイレクトプロモーションにおける顧客獲得が順調に進んだことも寄与し、販促支援事業における売上高は764百万円(前年同四半期比17.7%増)、セグメント利益は127百万円(前年同四半期比27.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が5,219百万円(前連結会計年度末比1.2%増)、負債が593百万円(前連結会計年度末比14.5%減)、純資産が4,626百万円(前連結会計年度末比3.6%増)となりました。また、自己資本比率は88.6%となりました。

資産の部では、流動資産が4,343百万円(前連結会計年度末比1.3%増)となりました。内訳として、現金及び預金が3,360百万円(前連結会計年度末比2.9%増)、営業債権(受取手形及び売掛金)が663百万円(前連結会計年度末比6.1%増)等となったためです。

固定資産は876百万円(前連結会計年度末比0.6%増)となりました。内訳として、有形固定資産が626百万円(前連結会計年度末比0.1%増)、無形固定資産が78百万円(前連結会計年度末比1.8%減)、投資その他の資産が171百万円

(前連結会計年度末比3.4%増) となったためです。

負債は593百万円(前連結会計年度末比14.5%減)となりました。これは、未払金が395百万円(前連結会計年度末比4.7%増)、賞与引当金が51百万円(前連結会計年度末比45.0%減)等となったためです。

純資産は4,626百万円(前連結会計年度末比3.6%増)となりました。これは、四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,627百万円(前連結会計年度末比8.7%増)、自己株式の取得により自己株式が1,005百万円(前連結会計年度末は792百万円)となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期業績予想につきましては、平成27年4月14日付「平成27年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,266,361	3,360,050
受取手形及び売掛金	625,130	663,386
その他	397,022	320,743
貸倒引当金	△622	△622
流動資産合計	4,287,892	4,343,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	158,274	155,787
土地	444,475	444,475
その他(純額)	22,574	25,820
有形固定資産合計	625,324	626,083
無形固定資産		
ソフトウェア	69,289	67,824
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	79,895	78,431
投資その他の資産		
その他	167,888	174,086
貸倒引当金	△1,891	△2,385
投資その他の資産合計	165,997	171,700
固定資産合計	871,216	876,215
資産合計	5,159,108	5,219,773
負債の部		
流動負債		
未払金	377,241	395,107
未払法人税等	60,677	30,305
賞与引当金	93,272	51,336
その他	161,552	114,413
流動負債合計	692,744	591,161
固定負債		
繰延税金負債	1,083	2,217
固定負債合計	1,083	2,217
負債合計	693,827	593,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	4,258,203	4,627,045
自己株式	△792,505	△1,005,875
株主資本合計	4,462,121	4,617,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,159	6,534
為替換算調整勘定	—	△943
その他の包括利益累計額合計	3,159	5,591
少数株主持分	—	3,208
純資産合計	4,465,281	4,626,393
負債純資産合計	5,159,108	5,219,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	3,630,382	3,976,891
売上原価	1,029,600	1,183,779
売上総利益	2,600,782	2,793,111
販売費及び一般管理費	1,870,686	2,026,545
営業利益	730,095	766,565
営業外収益		
受取利息	379	446
受取賃貸料	632	630
為替差益	—	2,313
その他	1,187	3,108
営業外収益合計	2,198	6,498
営業外費用		
自己株式取得費用	1,905	1,931
投資事業組合運用損	1,051	1,911
違約金	644	1,982
その他	698	462
営業外費用合計	4,299	6,288
経常利益	727,995	766,775
税金等調整前四半期純利益	727,995	766,775
法人税、住民税及び事業税	65,351	74,257
法人税等調整額	42,822	72,599
法人税等合計	108,174	146,857
少数株主損益調整前四半期純利益	619,821	619,918
少数株主損失(△)	—	△5,362
四半期純利益	619,821	625,280

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	619,821	619,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,410	3,374
為替換算調整勘定	—	△1,571
その他の包括利益合計	△3,410	1,802
四半期包括利益	616,410	621,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616,410	627,712
少数株主に係る四半期包括利益	—	△5,991

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成27年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が213,369千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において1,005,875千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,002,557	627,825	3,630,382	—	3,630,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,030	21,111	22,141	△22,141	—
計	3,003,587	648,936	3,652,524	△22,141	3,630,382
セグメント利益	1,142,806	99,753	1,242,560	△512,464	730,095

(注) 1. セグメント利益の調整額△512,464千円は、セグメント間取引消去3,330千円、のれん償却額△9,384千円及び全社費用△506,410千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,239,189	737,701	3,976,891	—	3,976,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	26,350	26,418	△26,418	—
計	3,239,257	764,051	4,003,309	△26,418	3,976,891
セグメント利益	1,122,933	127,257	1,250,190	△483,625	766,565

(注) 1. セグメント利益の調整額△483,625千円は、セグメント間取引消去3,330千円及び全社費用△486,955千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。